

アカデミックデイズ 2021

リスナーからのご質問に対する安達先生からのご回答

(2021.10.08. 公開)

【行動モデルで考えてみよう！】

Q. 消費者や企業といった意思決定主体の「最適化」、つまり自分効用 / 自社の利潤を最大化するように行動するということを考えるとき、どのくらいのタイムフレームの効果を最大化するのは、個々の分析で決めるの？

A. おっしゃる通り、文脈によって決められます。時間の流れを明示的に捉えようとする場合は、工学的な手法が使われることもあります。

Q. 行動モデルとはストーリーやメカニズムの数学的表現で、これは自由さの源泉だって言われてたけど、「自由さ」の源泉ってどういう意味？

A. 数学的な表現は窮屈な感じがしますが、そのことによって、かえって想像力が刺激されるように思われます。抽象的なものほど、色々に当てはめやすいという感じでしょうか。それを「自由さ」と呼んでみました。

【つまるところ、行動経済学とは？】

Q. Fogg 理論も行動経済学？

先生の研究はモチベーションを前提としているようだけど、経済学ではモチベーションというものが客観的に存在するということを前提で研究されているのかな？モチベーションってどういうふうに定義しているんだろう？

A. Fogg 理論というものを知らませんでしたので、教えていただきまして、ありがとうございました。

基本的には、モチベーションを人間自身がしっかりと把握しているという設定を取ることが多いです。自分の生活を見つめるとそこまでと思うかも知れませんが、少し触れました通り、火星人の立場から地球人を観測すると想定して、「自分の実感」から少し離れて人間を考えてみるということが有益だからです。ご指摘のように、もう少し「非合理的」な要素を考えることも出来るかと思いますが、それは、「実感に近い」からという単純

な理由ではなく、そのように想定する方が、より多くのことが説明できる、あるいは、そうしなければうまく説明できないことがあるという「道具主義」的な理由に基づくべきというのが私見となります。

Q. 経済は文系？理系？

A. 私見ですが、「文系と理系」という括りは、旧制高校由来の分類であり、大学受験を終えたのでしたら、もう忘れてしまっても良いでしょう（笑）。

【ゲーム理論を使って組閣交渉をモデル化してみよう！】

Q. 組閣を交渉ゲームとしてイメージする際、各派閥は交渉を通じて大臣ポストとそれ以外を取り合うことを「丸いピザを分け合う」って言われてたけど、なぜここで丸いピザを例として使うのか知りたい！

A. 分かりやすい例えのつもりでしたが、分かりにくいかったでしょうか。派閥というプレイヤーが、周りを囲んでいるというイメージですので、円形でしたら、ケーキでも良いと思います…。

Q. 文部科学大臣は、何派の人がなりそう？

A. 今回紹介したモデルでは、そういった予測をすることを目的とはしていませんので、ご質問に直接答えるのはできませんが、今までの組閣における文科相の派閥リストを作ってみると面白そうですね（笑）。

Q. 過去データは全員一致で合意した結果=なんらかの均衡にあるデータと考えるということ？

A. おっしゃる通りです。通常、モデル分析の際には、均衡を求めることを行います。

【大臣の価値って？】

Q. 大臣の価値ってというのは、大臣のポストの重要性のこと？

A. その通りです。

Q. 大臣の価値とは、政府の意向に合致する、その時代にとって大事なポジションということ？

A. 政党の政治家（派閥）にとって、どの大臣がより重要（魅力的）と考えられるかということが、大臣の「価値」の意味です。

Q. 最も価値が無いと考えられるポストもあるってことだよな？

A. 元になった研究では、大臣の重要度の順番を表にして表しています。ご関心ございましたら、12月発売予定の拙著『データとモデルの実践ミクロ経済学—ジェンダー・プラットフォーム・自民党』（慶應義塾大学出版会）をご覧くださいければ幸いです。

【政治の世界は奥が深い！】

Q. 日本のほぼ一党制だった自民党政権は、例えば海外の政治学研究者にとっても、魅力的な研究対象なのかな？

A. 日本政治の研究者にとっては、興味深い対象と思われれます。例えば、齊藤淳『自民党長期政権の政治経済学—利益誘導政治の自己矛盾』（2011年、勁草書房）には、海外の研究についても触れられています。

Q. 派閥ってなくならないの？

A. 私見ですが、それなりに大きな国会議員のいる政党でしたら、なくならないのではと思います。55年体制下の旧社会党でも派閥はありましたし、2009～2012年の民主党政権時代でも、派閥という言い方ではありませんでしたが、**グループという言い方がされていました。

Q. 欧米の組閣や政治体制は、ゲーム理論で分析しづらい？

A. 今のドイツの状況ですが、ヨーロッパの組閣の場合は、連立政権がどのように組まれるが大きな主題となります。少し紹介しましたが、浅古泰史『ゲーム理論で考える政治学—フォーマルモデル入門』（2018年、有斐閣）をご覧くださいければと思います。

【ゲーム理論の今とこれから】

Q. 企業にとってゲーム理論の研究はどのように活用されるのでしょうか。実例があれば教えて！

A. 直接的ではないですが、仮想的状況の思考訓練としてはそれなりに有用かと思われます。但し、科学という観点からは、そういった「実際に使って役立つ道具」という側面は、副産物、あるいはおまけと考えるべきであって、科学の主眼は、社会における自分という立場を離れ、あたかも火星人が地球人を観察するがごとの立場に立つことにあると考えています。

Q. 理論と言うのは時代によって変わるものなのかな？

A. 時代に応じて、進化していくものなのではないでしょうか？